

平成29年3月31日
千葉放課後連
会長 園山満也

千葉放課後連主催第14回研修会(映画上映含)～『さとにきたらええやん』～実施報告書

1. 日時 平成29年3月19日(日)、10:00～17:00(実行委員は 9:00～17:00)
2. 場所 千葉市生涯学習センター メディアエッグ (BF1)
千葉市中央区弁天3丁目7番7号
[TEL:043-207-5811](tel:043-207-5811)
JR千葉駅北口 徒歩10分
3. 参加者 ・対象者
各事業所の職員、利用者の保護者
各事業所を通して子供食堂、児童養護関係者、保護者
各福祉系大学教員、学生
放課後休日活動に興味のある人
合計 152名
来場者 139名 (午前 75名 午後 64名)
関係者 13名
4. 趣旨
 - ① 千葉県障害児の放課後・休日活動を保証する連絡協議会(千葉放課後連)の活動を啓発する
 - ② 放課後・休日活動を増進するため、役員事業所が主体となり活動することが重要であるという認識を内外に衆知する。
 - ③ 内外関係機関と協力し実地することで、地域の方々に放課後・休日活動を啓発する
 - ④ 事業として赤字にしない
 - ⑤ 放課後から自宅に帰った後こられない子着ても元気がない子らの背景にあるものに関心を持ち子供たちの生活を充実させる一助とする。
その子の1日の中で大きな部分を占める家庭地域での生活を知る。
5. 事業主催、主体 千葉放課後連
千葉放課後連役員事業所構成員による実行委員会 (10事業所)
6. 後援先 千葉県
千葉県社会福祉協議会
千葉市
千葉市教育委員会
千葉市自閉症協会
全国放課後連
放課後連・東京
6. 事業内容
 - ① 映画上映 題名 「さとにきたらええやん」
制作 ノンラデコ
監督 重江 良樹
「すべての子供たちに豊かな地域生活」という子供の里の理念のもとでの取り組みを紹介しています。
 - ② 講演 渋沢 茂 氏 中核生活支援センター 長生ひなた所長
 - ② パネル展示 関連書籍展示 ノンラデイコ
千葉県内放課後活動事業所の活動内容をパネルで展示する
今回は役員事業所8事業所
 - ③ 参加者募集 チケット販売方式による(1枚1000円)
7. 経緯 平成28年度千葉放課後連事業計画による

平成28年12月	さくらいろの風にて映画上映会打ち合わせ
平成28年12月	会場取（生涯学習センター）
平成29年1月	東風に映画上映報告 後援申請（内諾を得る） 協賛依頼（内諾を得る）
平成29年1月中旬	ポスター・チラシ自主制作
平成29年1月	千葉放課後連役員会映画上映会の打合せ
平成29年2月	ポスター・チラシ配布、チケット販売
平成29年3月	役員会、準備、備品、タイムスケジュール、役割分担 チケット販売状況把握 当日スタッフ人数把握
平成29年2月中旬	千葉放課後連役員会 当日パンフ作成 映画上映会中間打合せチケット販売状況
平成29年3月19日	当日 別紙進行表による
平成29年3月19日	当日 メールにてお礼
平成29年3月31日	報告書お礼状作成送付 後援申請先

8. 反省等

来場者アンケート別紙あり

- ・集客が目標に達しなかった。
- ・千葉放課後連として4度目の啓発事業であった。
- ・参加者観覧者からはおおむね良好な感想が得られた。
- ・渋沢茂氏による講演が支援の在り方に視点を合わせて頂き好評であった。
- ・千葉県内の放課後事業所のパネル展示も好評であった。
- ・講師紹介資料はなし。
- ・車椅子来場あり。
- ・子ども料金設定、障害者料金設定なし。考慮必要あり？
- ・備品として必要なものは漏れ落ちがなかった。
- ・実行委員の役割分担等はスムーズであった。 **スタッフ人数把握連絡あり**
協働して1つの事業を遂行することに慣れてきた。
- ・立て看板の作成法裏にベニヤ等貼る。
- ・スタッフの上長宛の依頼書作成。
- ・参加費の徴収が周知された。
参加者募集力は弱い。

事務局で一括管理。
集客は目標に達していない。

9. 会計報告 別紙